

**令和4年度 第2回  
門真市教育委員会点検・評価検討委員会 会議録**

**開催日時** 令和4年10月7日（金）14：00～15：40  
**開催場所** 門真市役所 本館2階 大会議室  
**出席者** 萩原雅也委員、野田文子委員  
(委員長は萩原雅也委員、副委員長は野田文子委員)  
**事務局** 鈴木教育部長、峯松教育部総括参事、大倉教育部次長、十河教育総務課長、渡辺教育企画課長、高山学校教育課長、川谷学校教育課参事、植原学校教育課参事、永田教育総務課長補佐、山田教育総務課主査  
**傍聴者** なし  
**議事**

**萩原委員長**

ただ今から、令和4年度第2回門真市教育委員会点検・評価検討委員会を開催いたします。

本日は、ご多忙にもかかわらず、ご出席いただき誠にありがとうございます。それでは、本日の出席者数の報告を事務局からお願いいたします。

**事務局（永田教育総務課長補佐）**

教育総務課の課長補佐の永田です。出席者の報告をさせていただきます。本日は全委員の方にご出席いただいております。

門真市附属機関に関する条例の施行に関する門真市教育委員会規則第5条第2項の規定にあります過半数の出席の要件を満たしておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

**萩原委員長**

はい、ありがとうございます。

それでは点検・評価検討内容についてですが、まず、前回の会議で新型コロナについては、様々なところに影響が出てくるので、昨年度と同様に対応等について別立てで包括的にまとめたものを作成したほうが良いという意見を申し上げました。それを受けて、事務局がシートのほうを作成いただいておりますので、それにつきまして事務局より説明をお願いします。

**事務局（永田教育総務課長補佐）**

93 ページの、Ⅲ新型コロナウイルス感染症の影響についてをご覧ください。左のページ、93 ページに主な事柄をまとめさせていただいて、94 ページのほうには、令和3年度の門真市教育委員会の主な対応を記載させていただいております。93 ページの主な事項については、令和2年3月2日から始まった門真市の対応として、全小中学校の一斉の臨時休校から始まりまして、夏季休業の短縮や冬季休業の短縮などについて記載させていただいております。右の欄のほうには、国・府の緊急事態宣言の発令やまん防、まん延防止等重点措置の発令などについてまとめさせていただいております。こちらに全体的な時系列の主な事柄についてまとめさせていただいております。94 ページについては、令和3年度の門真市教育委員会の主な対応を記載させていただいております。(1) から(4)まで、4点書かせて頂いております。1つ目が児童生徒の学習保障についてということで、各校の学習支援員の配置であるとか、スクールサポートスタッフの全校配置、学習到達状況の把握について書かせていただいております。すみません。この中で、大阪府小学生すくすくテストですが、こちら小学校5年生だけと書かせていただいているんですけども、小学校6年生も実施しておりますので、大阪府小学生すくすくテスト、小学校5年生と小学校6年生も参加しておりますのでよろしくお願いします。

(2) 学校行事について、水泳活動については市内で一律中止したことや、運動会、体育祭については工夫して実施したこと、宿泊行事については、一学期は一律中止し、二学期については、工夫して各学校で実施したこと等を書かせていただいております。入学式、卒業式については、感染防止を徹底した上で実施させていただいております。

(3) 小中学校の感染防止の取組について、大きく6点でまとめさせていただいております。感染防止に向けた小中学校の対応については、校長会等でその都度協議し、その内容を決定し、また、保護者に対しての通知をし、本市のホームページにも掲載しておりました。2点目が、国の補助金である、学校保健特別対策事業費補助金を引き続き学校における備品や消耗品等の購入のために充てました。3点目として、消毒作業やトイレ清掃につきましては、シルバー人材センターへ業務委託を行いました。そして4点目として、更なる感染対策を図る目的として、各学校にサーモグラフィー・CO<sub>2</sub>センサー・サーキュレーターを配備させていただきました。そしてまた、足踏み式の消毒液スタンドを民間企業から寄贈を受けることができましたので、希望校である17校に配置致しました。最後に、スクールサポートスタッフについても全校配置致しました。

(4) ICT機器の活用についてというところで、1人1台端末、クローズドブックを活用した家庭学習やオンライン授業について、全校で試行実施致しました。そして、インターネット環境がない家庭に対しては、モバイルルータを貸与

致しました。そして最後に、校長会、教頭会や教職員研修をオンライン、グーグルミートにて実施致しました。以上、去年度令和3年度の門真市教育委員会の対応についてまとめさせていただきました。以上です。

#### **萩原委員長**

ありがとうございます。では、こちらにつきまして、なにかご意見とご質問がございましたらお願い致します。

#### **野田副委員長**

分かりやすくまとめられておられますので言うことはないです。

#### **萩原委員長**

綺麗にまとまっているので、後々振り返る時に、この時のことをまとめていただいていることは大事だと思いますので、ありがとうございます。

では続きまして、本日のこの後の進め方につきまして、事務局より説明お願い致します。

#### **事務局（永田教育総務課長補佐）**

本日の進め方についてでございますが、点検・評価検討委員の皆様よりご指摘をいただき、修正いたしました部分につきまして、7つございます。施策の方向ごとに要点を各所属から説明させていただきます。

その後事務局より、点検・評価検討委員の意見・助言を読み上げさせていただきますので、委員の皆様より新たに補足、訂正、追加等がございましたら、ご意見・ご助言をいただきたいと思っております。

そして、報告書のすべての項目が終わりましたら、点検・評価検討委員の皆様からいただいております、全体についての意見を事務局より読み上げさせていただきますので、こちらにつきましても、補足、訂正、追加等をお願いしたいと思います。

また、シートの中の成果指標について、ご指摘がございましたので、成果指標については、全て活動・成果概要の下にまとめて掲載させていただいておりますのでよろしくお願いいたします。

そして、95 ページから資料編といたしまして、資料を添付させていただいております。97 ページからは、門真市の開発的生徒指導についての資料、101 ページ 102 ページには、門真市版授業スタンダード、門真市版家庭学習の手引き、104 ページについては、門真市版授業づくりベーシック、106 ページからは、門真市学びのススメについて資料をまとめさせていただいております。

また、112 ページからは、用語解説を掲載させていただいておりますのでよろしくお願ひします。以上です。

### 萩原委員長

それでは、ご説明いただいたとおりの進め方でいきたいと思ひます。ではまず、施策の方向 1、確かな学力の育成、こちらについてお願ひ致します。

### 事務局（永田教育総務課長補佐）

まずは、最初の学習指導要領の確実な実施についてですけれども、こちらについては修正等ございませんので、説明はございません。

### 植原学校教育課参事

続きまして、(2) 学力向上に向けた基盤づくりについて、令和 3 年度活動・成果概要のところ、13 ページをご覧ください。

④組織体制の強化と目標の共有の部分で、昨年度、教育課程の研修ができていなかったところを記載したらどうかというふうにご助言をいただきましたので、括弧の中の教育課程研修を除いて、教育課程研修は実施できていませんというふうに記載させていただきました。

また、成果指標 2 のところで、全国平均正答率を 100 としと左側に説明があるのに、目標のところは 70 になっていて、ちょっとわかりにくいというふうなご指摘もいただきました。そこを 100 にいたしまして、改めて市内の学力調査をやっているのを平均を出して、数値を載せさせていただいております。あと、軽微な文言修正も行いました。

14 ページをご覧ください。令和 3 年度実施を踏まえた課題と今後の目標の②のところの、様式を方法というふうに文言を訂正させて頂いております。ここに関連いたしまして、用語解説の 118 ページ、一番最後のページをご覧ください。先ほど事務局からの説明がありましたように、小学校 6 年生で、小学生すくすくウォッチをやっておりますので、その部分、すみません。ここには追加出来ないんですけれども、追加していただいて、実施母体の大阪府というところで作成しようというふうを考えております。(2) は、以上になります。

そのまま続けてよろしいでしょうか。

### 萩原委員長

はい。

### 植原学校教育課参事

では、(3) グローバル化に対応するための取組の推進のところ、16 ページをご覧ください。

主な取組①外国語(英語)教育の充実のところの1、ALT一人あたりという文言を追記したほうがわかりやすいとご助言をいただきましたので追記いたしました。そして、その下にはNETという名称からALTに変更していますので、その旨も記載させていただきました。

### 高山学校教育課長

続いて、17 ページをお願いいたします。

こちらにつきましては、めざせ世界へはばたけ事業の推進の中で、ホームビジット先がなぜ長崎であるのかという選定理由を書いたほうがわかりやすいとのご助言をいただきましたので、そちらに、ホームビジット等をはじめとする英語学習環境が整っているというような説明を加えさせていただきました。

次に、(4)の小中一貫教育の推進、19 ページに移らさせていただきます。こちらの修正点は、20 ページをご覧ください。もともと記載のあった小中一貫教育とキャリア教育との関連性がわかりにくいとのご指摘をいただきまして、別の実施施策に詳しく記載がありますので、そのことを明記いたしました。施策の方向3(1)自分の将来を描ける力の育成に記載しているように、小中一貫教育とキャリア教育は深いつながりがあるとの、すみません。「あると」が2回記載されております。つながりがあると認識しておりという文言を追記いたしました。

続きまして、21 ページをご覧ください。こちらについては、門真市就学前教育、保育共通カリキュラムの活用状況を教えてくださいというかたちでご質問いただいております。こちら調べましたところ、保育園と幼稚園との共通カリキュラムがメインというものになりますので、小学校での活用は、あまり実態としてはございませんでした。ただ、就学前との連携も非常に大切だと認識しているため、今後、引き続き活用を進めていきたいということで、そちらに記載のとおり名目を追記させていただきました。以上でございます。

### 事務局(永田教育総務課長補佐)

続きまして、89 ページをご覧ください。点検・評価検討委員の意見・助言について読ませていただきます。

施策の方向1、確かな学力の育成、(1)学習指導要領の確実な実施についてです。継続することが大切なので、負担になりすぎないように工夫して実施していただきたい。ICT機器の活用については、具体的な例を示すことは大事なことなので、しっかり進めていただきたい。社会に開かれた教育課程の推進については、教育委員会だけではなく市長部局との連携をし進めていただきたい。「連携、

連携」となっているんですが、正しくは「連携をし進めていただきたい」です。

(2) 学力向上に向けた基盤づくり、門真市学習到達度調査については、学習状況の分析に非常に役立つので、今後もデータを蓄積していただきたい。また系統的な分析方法を確立し、授業改善に活用していただきたい。質の高い授業づくりについては、積極的な取り組みなので全学校に広げる仕組みづくりをしていただきたい。

(3) グローバル化に対応するための取組の推進、英語は楽しいという以上に、英語を学ぶことは大切だという意識が育ってきており、英語を身に付ける上で良い成果が出ている。小学校英語専科を配置している6年生においては、肯定的な意見が上昇しているということなので、次の展開に期待したい。コロナ禍の中でも、めざせ世界へはばたけ事業を中断することなく、工夫しながら継続していることは評価できる。

続きまして、(4) 小中一貫教育の推進についてです。段差を乗り越えるために、門真市就学前教育・保育共通カリキュラムを活用した小学校と幼稚園・保育園・認定こども園との連携が大切である。以上になります。

#### 萩原委員長

はい、ありがとうございました。では、こちらにつきまして、ご意見をいただきたいと思うんですけども。

#### 野田副委員長

はい。では私から、ちょっと文言等の修正をしていただきたいと思います。

まず、(1) 学習指導要領の確実な実施というところなんですが、この1行目ですね、継続することが大切なのでこの1行分をちょっと消していただいて、そして、社会的な学びの向上やという言葉を代わりに入れていただいて、主体的な学びの向上やICTの活用についてはという文章にしていきたいと思います。それから後も、少し伝わりにくい文章なので、具体例を「的な」を取って、具体例を示すことが重要なことから、引き続き実践的な研修を進めていただきたい。もう一度言います。具体例を示すことが重要なことから、引き続き実践的な研修を進めていただきたい。改めて言うと、頭の中にある文章と違ってしまっているんで、ちょっと説明を変えないとわかりにくいなというふうに思いました。よろしいですかね。

#### 事務局（永田教育総務課長補佐）

はい、わかりました。修正させていただきます。

### 野田副委員長

それから、(2)と(4)もあるんですが、(2)がですね、いただきたいというのが重複しているので、門真市学習到達度調査については、学習状況の分析に非常に役立つので、今後もデータを蓄積し、ここで切っていただいて、「いただきたい」と「また」を取って、系統的な分析方法を確立し、授業改善に活用していただきたいという文章にしてください。

それから、(4)小中一貫教育の推進については、段差を乗り越えるためにとという表現が、ちょっと馴染まないと思いますので、これを取っていただいて、コロナ終息後のという言葉に置き換えてください。門真市就学前教育・保育共通カリキュラムを活用した小学校と幼稚園・保育園・認定こども園との連携拡大に期待したい。大切であるではなくて、なお一層という意味で、連携拡大に期待したいというふうにしてください。すみません。私からは以上です。

### 萩原委員長

私のほうは、1の最後の2行なんですけど、社会に開かれた教育課程の推進については、教育委員会だけではなく市長部局との連携を密にし、「密に」と入れてもらったほうがいいかなと思います。密にし、進めていただきたい。

それから、めちゃくちゃ細かいことなんですけれども、この1と2の括弧の数字が半角になっているんです。今後、複製ばかりになってくると気になるので、すみません。

### 事務局（永田教育総務課長補佐）

はい、わかりました。失礼しました。

### 萩原委員長

すごく細かい話ですが。以上でよろしいでしょうか。

では、施策の方向の2、すべての子どもへの学習の支援、こちらをお願い致します。

### 高山学校教育課長

はい。では、すべての子どもへの学習の支援の(1)障がいのある子どもの自立支援の部分です。26ページをご覧ください。

①のともに学び、ともに育つ学校づくりの推進の中で、もともと教室の環境整備を挙げていたのですが、ご意見として教室内だけでなく、トイレや階段のルール作り等もあるだろうというふうなご指摘もいただきましたので、そちら学校内の環境整備というかたちで修正致しました。追記部分としましては、トイ

レ・階段等の整備や使い方のルールづくりという部分を追加しております。

ページをめくっていただきまして27ページです。27ページは、社会保障は行政の責務であることをしっかりと示したほうがいいとのご指摘をいただきましたので、そこを踏まえまして、最初の3行、障がいのある子どもの自立支援は、教育委員会として欠かせない視点であり、令和3年度の課題と成果を踏まえ、次のとおり引き続き重点的に取り組みますと追加しております。

続きまして、その下の②の部分です。こちらは、活動成果概要と、この課題と今後の目標とが同じ表現、内容が同じだったために、表現を一部修正しております。修正箇所は、そちらの下線で引かせて頂いている部分となります。(1)については以上です。

### 植原学校教育課参事

続きまして、(2) 不登校児童生徒への支援、29ページをご覧ください。

令和3年度実施を踏まえた課題と今後の目標の部分、①につきまして、コロナ禍において登校しにくくなった児童生徒が増えた場合、どのような支援を考えているのかというところの記入をしたほうが良いというご助言をいただきましたので、2行目後半から具体的には、コロナ禍において、学校に登校しにくくなった子どもへの支援を含め、学校との密な連携や門真市教育センター内に設置されている子ども悩み相談サポートチームとの連携を充実させると共に、必要に応じて、不登校対策学生フレンドの増員等も検討したいと考えていますというふうに修正させていただきました。

### 高山学校教育課長

続きまして、30ページの①学校における感染症対策の徹底をご覧ください。こちら、もともと活動指標が長期に休校に及んだ学校数のうちに、休校中オンライン等で子どもの安否確認等を行った数の割合という活動指標を掲げておりました。ただ、ここについては、もともとこの項目の学校の新しい生活様式に基づいた教育活動を行いますという部分との、指標としての整合性が取れていないのではないかというようにご指摘をいただきましたので、ここを表す指標と致しまして、そちらに記載のように、大阪府教育庁等のマニュアルを踏まえ、教育活動における感染症対策を徹底した学校数に改めさせてきました。こちらは、全校で実施しておりますので、20という数値になりますが、しっかり出来ることをちゃんとやっているということで維持というかたちの項目へ変更致しました。

### 植原学校教育課参事

続きまして31ページ、令和3年度活動・成果概要の部分、②の3段落目の部



分につきまして、学校や校長会との連携についての記入もしたほうが良いとのご助言をいただきましたので、緊急時の対応について校長会と情報交換を密に取り、門真市としての対応を決めました。また、ICT機器を活用した実践報告をGIGAスクール支援サイトにて掲載し各校へ発信しました。というふうなかたちに修正させていただきました。以上です。

#### **事務局（永田教育総務課長補佐）**

続きまして89ページをご覧ください。点検・評価検討委員の意見・助言についてです。

下段の、施策の方向2、すべての子どもへの学習の支援、(1)障がいのある子どもの自立支援についてです。障がいのある子どもの自立支援は、教育的な側面だけではなく、社会保障的な側面もあるので、行政的な責務を意識し取り組んでいただきたい。

(2)不登校児童生徒への支援についてです。コロナ禍の影響で不登校率が上がる一方、相談件数は下がっている状況なので、コロナ禍を乗り越える不登校対策を考えていただきたい。

(3)様々な状況下における学習機会の確保です。将来的に緊急事態が起こった時のためにも、ICT機器の貸出などで学習環境を保障する必要がある。以上です。

#### **萩原委員長**

はい、ありがとうございます。では、こちらにつきましてご意見を頂戴してよろしいでしょうか。

#### **野田副委員長**

はい、先に意見を述べさせていただきます。まず、意見・助言の89ページなんですけれども(1)のほうは、そのままなんですけど、(2)ですね、不登校児童生徒への支援ということで、追加修正もいただいているので、この行はですね、小・中でもちょっと上がったり下がったりあるので、消していただいて、学生フレンドの派遣についても対象となる全ての児童生徒に有効な質と量の確保に努められたいという修正としていただいた部分に併せて変えたいと思います。もう一度言います。学生フレンドの派遣についても対象となる全ての児童生徒に有効な質と量の確保に努められたい。

(3)ですが、ここは感染対策の指標がちょっと変わりましたので、ここもちょっと追加をして、1行目はそのままなんですけど、感染症対策については全ての学校で徹底して行われていた。大阪府の基準に合わせて、徹底してしたという指

標報告がありましたので、感染症対策については、感染症だけではダメですかね、コロナ感染症でしたかね。コロナ感染症対策については、全ての学校で徹底して行われていた。全ての学校で、きちんとやっていたということも評価したいという意味で1行入れてください。

#### 事務局（永田教育総務課長補佐）

わかりました。はい。

#### 野田副委員長

それから、ちょっと細かいことなんですけど、27 ページの、前は気付かなかつたんですが、課題と今後の目標の②の2行目のところ。障がい種別や個に応じたの「個」が子どもの「子」になっているので、個人の「個」です。27 ページの課題と今後の目標の中の②の2行目です。

それから、もう1つ気になったのが、26 ページなんですけれども、26 ページの成果指標のところ、2と3が目標になっているんですね。単位、実績、目標と全部これは、そういう書き方になっているんですが、ここの個別教育支援計画・個別の指導計画を作成している児童生徒数というのは、これは目標ではなくて、見通しとか予測とかそういうことになるのかなと思うんですけど、ここだけそういう、2と3だけちょっと、そういう指針に変えるのはおかしいですかね。3も通級指導を受ける児童生徒数の目標っていうのは、おかしいんじゃないかなって、ちょっと思っていたんですけど、見通しとか予測とか、まあ目標でも、他が全部それなので、枠が自然にしているということで、それはそれでもいいと思いますけど、ちょっと気にはなりました。目標ではないですよ、これは。子どもがこれ位になるんじゃないかっていうことですよ、理解としては。

#### 事務局（永田教育総務課長補佐）

指標なので、一応まあ目標にはさせていただいているんですけども。指標っていうところで。

#### 野田副委員長

通級指導を受ける児童生徒数っていうのが、必要な生徒の数っていうのは、その必要な子どもがあれば増えるし、必要な子どもが減れば減るわけですよ。だからずっと増えていくとは限らない数字ですよ。だからといって、こっちで減らそうという目標を作るわけにもいかない数字ですよ。だからちょっとまた次回、このあたりを見通しとかなんか、また別の表現があるのかなとちょっと思いました。今回すぐ直すということではなくて。

### 事務局（永田教育総務課長補佐）

括弧書きで書くか、ちょっと説明するか等も含めてまた次回から検討させていただきます。

### 野田副委員長

あっ括弧として、予測とか理想とか。あっそうですね。ちょっと加えて頂いてもいいですか。ちょっと気になりました。以上です。

### 萩原委員長

はい、ありがとうございます。私のほうは、特に文言の意見はないんですけども、先ほどの最初に説明にさせていただいた時に、活動成果概要があって、その下に成果指標を並べるっていうのはわかりやすいなと思います。ただ、あの活動と成果のつながりに関しては見づらいなと思いますね。そのへんを、今度意識して、上の活動成果概要のところは、文章を考えただいたら、更にわかりやすくなるかなと思います。活動目標については、目標を達成しておりとか、成果については、下記にあるように達成したとか、活動と成果の間をつなぐような文章を、恐らくこの活用成果概要のところに書いていくっていうのを少し意識していただくとうそい伝わってくるという感じがしますので、次回以降ご変更をお願いいたします。

では、施策の方向2は以上にさせていただきます。施策の方向3、豊かでたくましい人間性の育み、ではこちらのほうお願い致します。

### 高山学校教育課長

はい、では施策の方向3に移らせて頂きます。

まず、(1)自分の将来を描ける力の育成からです。34ページをご覧ください。こちらは、令和3年度実施を踏まえた課題と今後の目標の中で、キャリアパスポートが活用できていないというような否定的な表現があったんですけども、そちらをキャリアパスポートの有効活用の手立て等も含めたというふうに修正してはどうかというふうなご意見をいただきまして、そのとおりに修正をしております。

### 植原学校教育課参事

続きまして、(2)豊かな心を育む教育の推進です。37ページをご覧ください。

令和3年度活動・成果概要の②情報モラル教育の推進のところの1行目、情報モラル研修とセキュリティ研修、両方やっていることがわかるような文章に変

えたほうが良いとご助言をいただきましたので、そのような表記にさせていただきました。

#### 高山学校教育課長（0：32：27～）

続きまして、38 ページの令和3年度実施を踏まえた課題と今後の目標の部分になります。こちらについては、もともといじめはどんな理由があってもいけないことだと思ふの肯定的回答を向上させるためというように、それのみを目的であるかのような表現になっておりましたので、その部分を修正しております。修正後の文章といたしましては、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組むことで、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことをめざしますと変更致しました。あと、もともとの文章は、組織的な道徳教育を展開というような文言が入っておったのですが、組織的な道徳教育ってという部分が、ちょっとわかりにくいというふうなご指摘を頂きましたので、教職員が系統的なカリキュラムに基づいたというかたちに変更させていただきます。

次に、(3) 開発的生徒指導の推進についてです。39 ページのめざす指標の部分です。こちらは、違う調査を同列に扱っておりまして、令和1年度と令和3年度の数値が、違う調査の結果が同じ段に並んでおりました。そのところを、欄外に参考数値であることを明記して、わかりやすく、きちっと書くほうが良いというふうなかたちになりましたので、そこを反映してわかりやすく整理をし直しているというかたちになります。

続きまして40 ページです。令和3年度活動・成果概要の部分です。ここは児童生徒から教職員に対する信頼性が非常に高まっているので、その成果をしっかりと記入したほうが良いとのご助言をいただきましたので、このことは、児童生徒の教職員に対する信頼性の向上にもつながっていると考えておりますと書かせていただきました。

次に、その下40 ページ下段になりますけれども、令和3年度実施を踏まえた課題と今後の目標のところですか。もともとは、こちら非常に細かい数値を入れておったのですが、細かい数値を載せるんだったら、数値の表が必要ではないかというふうなご意見をいただいたんですけども、最終的にこちらで検討した結果、細かい数値を除いて、文章表記にさせていただきました。減少傾向にあり、専門家連携や、未然防止につながる自尊感情を向上させる取組が結果につながりました。一方で、中学校での暴力行為件数が、近年再び増加傾向にあることが課題です。とさせていただきます。不登校千人率につきましては、別のページにデータが載っておりますので、そこがわかるように、24 ページにあるというふうな、ある場所についても記載するとともに、その他も若干の文言を修正致し

ております。

続きまして、(4)です。いじめ防止への取組の推進、42ページをご覧ください。中盤の、令和3年度活動・成果概要のところですか。こちらはアンケートをするっていった取組自体の取組も書いてはどうかというふうなご助言をいただきましたので、そちらにありますように、気になる子どもの様子を校内いじめ防止対策委員会等で共有し、学校体制として対応を行っていることについてかたちで、学校で行われている対応を具体的に記載いたしました。また、併せまして最後の2行にありますように、先生への信頼が増していることについても併せて記載しております。

すみません。1点修正です。先ほど40ページの下の部分で、24ページにあるというふうに、ページ数を具体的に記入しましたが、これ以前の古いほうの資料の番号を書いてしまっておりますので、最終的に修正を整えた最終版をページ数にまた改めたいと思います。

続きまして(5)の人権尊重の教育の推進です。44ページをご覧ください。

こちらにつきましては、令和3年度活動・成果概要の部分をご覧ください。こちらの②の、下線を引かせていただいておりますように、多文化共生教育の推進については、外国につながるのある子どもたちが、母国の文化や言語を学んだり発表したりする場を、コロナ禍でも動画の共有など工夫を重ねて持つことができましたと追加しております。

成果指標につきましては、ここの人権尊重の教育の推進を表す、もっと相応しい指標はないかっていうようなご指摘を頂きましたので、こちらで検討させて頂いた結果、自分には、よいところがあると思いますかの全国学力・学習状況調査の数値を入れさせて頂いております。

45ページをご覧ください。こちらの成果指標も併せて、人権教育の推進を表すような指標をとということで、i c h e c kという指標があるんですけども、こちらは将来、あんな人になりたい、こんなことがしたいという夢や目標がありますかという文面を入れさせて頂いております。

その下、令和3年度実施を踏まえた課題と今後の目標の部分です。こちらは、もともと研修と関係団体との連携のみ記載がありました。それぞれの項目について、より詳しく、項目ごとに書くべきだとかのご助言をいただきましたので、①、②、③に対応することを具体的に大幅に書かせていただきました。ちょっと、①から修正ではなくて、書き改めたというようなかたちになりますので、少し読み上げさせて頂きます。

①人権教育の推進については、各学校にて様々な人権教育実践がなされている一方、取組みに学校や教員の意識差があったり、小・中学校間での系統性等が十分に考慮されていなかったりという課題が散見されます。

②多文化共生教育の推進については、世界の国々の文化を疑似体験したり、ICT機器を用いて調べたりする活動が広く実施されている一方で、知ることや楽しむことに主眼が置かれ、多様性を認め合いながら共生を目指すことについて考えるという側面にはいまだ課題があります。

③男女平等教育の推進と性的マイノリティの子どもへの対応については、多くの学校が校内研修等において性的マイノリティの理解を取り上げ、授業実践も積極的に行われている一方で、SDGsのめざすジェンダー平等については、外部講師を招いての研修や授業実践ともに十分なノウハウが確立できておらず、研修と実践を重ねる必要があります。

今後、各学校にて実施される人権教育実践が、子どもの実態や学びの系統性を踏まえたものになっているか、関係諸団体とも連携し、担当者間での交流の場を設定します。また門真市の実態に即した人権研修会をオンライン等も活用しながら積極的に実施し、経験年数の少ない教職員を含むすべての教職員が学びを深めることができる機会を確保していきます。とさせていただきます。

ここは、(6)もありますね。(6)読書活動の推進です。48ページをご覧ください。こちら、下の成果指標の部分を変えさせていただきました。もともとは、1日当たりの読書時間だったのですが、これは、読書習慣を表している指標ではないかというふうにご指摘をいただきまして、読書習慣も大事だけれども、どちらかというとな読書の楽しみを図るような指標のほうがより望ましいのではないかというふうなご助言をいただきましたので、ちょっとそれに相応しい指標を探しまして、差し替えさせていただきました。以上です。

### 事務局（永田教育総務課長補佐）

続きまして、90ページをご覧ください。90ページの点検・評価検討委員の意見・助言を読ませさせていただきます。

施策の方向3、豊かでたくましい人間性の育み。(1)自分の将来を描ける力の育成についてです。キー・コンピテンシーの基盤になる基本的な力をつけることは、将来のキャリアに繋がるので、そのために9年間の小中一貫教育をしっかりとするという意識醸成が重要である。

(2)豊かな心を育む教育の推進についてです。指標と中身に整合性があり分かりやすいシートになっている。どの数値も高く、開発的生徒指導の成果が出てきており、評価できる内容である。数値が伸びにくい自尊感情が90パーセント、命の教育も96パーセントという高い成果が出てきているので、目標である100パーセントの実現を期待している。開発的生徒指導の成果が出てきているので、今後は体面的ではない非対面のバーチャル空間における倫理観の指導についても、開発的生徒指導の観点で進める方法の確立を次の課題としていただきたい。

すみません。今後の対面的の対が体になっていますので「対」のほうに修正します。

(3) 開発的生徒指導の推進についてです。成果指標の数値が上がり、開発的生徒指導の成果が出てきている。児童生徒が先生から認められていると感じ、子どもからの信頼の獲得が出来ているので、高く評価している。

(4) いじめ防止への取組の推進についてです。SNSでのいじめにも対応できるために、アンケートの中身についても今後検討していただきたい。

(5) 人権尊重の教育の推進についてです。社会保障的な側面もあるので、責任をもって取り組んでいただきたい。男女平等教育の推進と性的マイノリティの子どもへの対応についても、性的マイノリティの子ども達が保障されているという実感を得ることによって、全ての子ども達が自らのいいところに気付けるよう積極的に推進していただきたい。

(6) 読書活動の推進についてです。小学校の数値が下がっているので、教育環境の変化や子ども達の状況の変化等、総合的な要因を分析する必要がある。以上です。

#### 萩原委員長

はい。ありがとうございます。では、ご意見を頂戴したいと思います。

#### 野田副委員長

では、失礼します。(2)についてなのですが、(2)豊かな心を育む教育の推進のところですか。ここも「中身に整合性があり」という言葉がわかりにくいので、指標と主な取組・活動成果という実際のをいれたいと思います。指標と主な取組・活動成果の整合性が、「あり」を取って分かりやすいシートになっている。そのようにしていただきたい。指標と主な取組・活動成果の整合性が分かりやすいシートになっている。それからその下ですね、下から3行目、「開発的生徒指導の成果が出てきているので」というここは取っていただいて、今後は、「対面的でない」も取っていただいて、今後は、非対面のバーチャル空間における倫理観の指導のずっとあと取ってもらって、指導方法の確立も課題としていただきたい。シンプルな感じですが、もう一度言います。今後は、非対面のバーチャル空間における倫理観の指導方法の確立も課題としていただきたい。

それから、(3) 開発的生徒指導の推進、ここでは成果が出てきていると、ここでも書いているので、何回も書いてしまうかたちになるので、(2)は取らせてもらいました。(3)のほうは、そのまま、最後の高く評価しているというのは、高く評価出来るに直してください。

それから、(5)の人権尊重の教育の推進のところの2行目、ここちょっと取

ってほしいんですが、男女平等教育の推進と性的マイノリティの子どもへの対応についてもと違うものを並べておきながら、性的マイノリティの子どもにもって、こう書いているので、前の「男女平等教育の推進と性的マイノリティの子どもへの対応についても」を取ってしまってください。

それから、(6)の読書活動の推進については、少し中身は指標も変わりましたので、文章をちょっと変えたいと思います。本を読むことに、楽しさや意義を感じている子どもが少しずつ増加してきている。そういう、意欲的な子どもが増えているという評価にしたいと思います。ゆっくり読みます。本を読むことに、楽しさや意義を感じる子どもが少しずつ増加してきている。

#### 事務局（永田教育総務課長補佐）

はい、ありがとうございます。

#### 野田副委員長

それと、ちょっと行が消えていたのに気が付いたんですけど、45 ページの新しく取り入れられた成果指標の3です。実績のR3のところ、中1の下の1行、抜けているなと思います。はい、以上です。

#### 萩原委員長

はい、ありがとうございます。私は、45 ページの③男女平等教育の推進と性的マイノリティの子どもへの対応については、多くの学校が校内研修等において性的マイノリティの理解を取り上げ、授業実践も積極的に行われて「います。」ってここで丸にしたほうが良いと思います。SDGsで違うと、「・・・います。一方で、SDGsのめざす」のほうがいいんじゃないかと思います。その上の一文消えているのは、数字が消えていますね。

#### 事務局（永田教育総務課長補佐）

失礼いたしました。

#### 萩原委員長

それから、めざす指標のこの目標のところ、参考値とR7のここに入っているんですけど、これ、なんかちょっと違和感があって、全国学力調査の項目が入って、参考値になったというR3はわかるんですけど、R7にいきなり参考値と書くのはなんかどうなのかなと、ちょっと読まれる市民の方が、ちょっとそこが気になったのと、参考値というのではなくて代替指標かなんかを書いたほうが、代替調査というふうに米印で書いておいたら。最後のところはもうオープン参



考値入れるんじゃないなくて、一番下に代替値におけるとか、読まれるときの印象の話なんで、表現が間違っているということではなくて、参考値とかになると、あくまで参考なんだなというふうに感じてしまうので、代替値というふうにはっきりもう、そういうふうに決めてもらえばそれでいいかなと思います。以上です。

#### 野田副委員長

言い忘れたんですけど。そこの点示、私もちょっと悩んでおりました。この1の全国学力・学習状況調査、R1そしてR2と書いてありますよね。これR2までって入れたらどうなんですかね。じゃあもうR3はないんだっていうのがわかりますよね。そしてその下に、いま先生がおっしゃっていたように代替値っていうかたちでR3を入れたら、解決しますかね。以上です。

#### 萩原委員長

めざす指標ですね、必ずこれを目標にやっているっていうことになるので、ここは、はっきりと書いていただいてよろしいですか。

では、続いて施策の方向4、健やかな体を育てる教育の推進、こちらをお願いします。

#### 高山学校教育課長

はい、では施策の方向4に移らせていただきます。53ページをご覧ください。53ページにつきましては、こちらの施策の方向、健やかな体を育てる教育の推進を表すより良い指標はないかっていうようなご指摘をいただきましたので、運動や睡眠の習慣を表している指標を探しまして、そちらに置き換えさせていただきます。

続きまして54ページです。こちらにつきましては、健康三原則をどのように家庭に働きかけていくのかというところを、しっかり記載したほうが良いというようなご指摘を受けまして、就寝時刻を含めた生活習慣についても、全国に比べて課題が大きいため、「健康三原則」に基づいた正しい生活習慣に基づく健康づくりについて、個人懇談やPTA行事などの様々な場で保護者に周知啓発していきますというようなところを加えさせていただきました。

#### 十河教育総務課長

はい、(2)の食育の推進というところですよ。57ページをお願い致します。主な取組の②食育の推進に関しまして、当初成果指標がなく、①の学校給食の充実に設定しておりました学校給食残渣率、これしかなかったため、その成果指標を令和3年度活動・成果概要の欄の下に移動いたしまして、全体の成果指標に変更

致しております。これに合わせて57ページの令和3年度の活動・成果概要の記述もですね、食にしっかりと向かい合う態度ができ、最終的にめざす指標である、朝食喫食率の向上につながるという表にするべきだのご意見をいただきましたので、その記述といたしまして、中段あたりの下線のほう、学校給食を通して食に関する指導を行うことで、身体の健康や成長における食事の大切さを学び、「好き嫌いせず、残さず食べる」意識を自然と身に付けることができていると、学校給食残渣率にも表れていますとの表現に変更しております。また、朝ごはんレシピ集を例年通り配付し、家庭と連携した食育を推進したことにより、下段の下線のとおり、学校だけでなく家庭においても食事を大切に、朝食喫食率の上昇にもつながってきているという、そういう表現に変更させていただいております。ここは以上です。

#### **事務局（永田教育総務課長補佐）**

続きまして、90ページの点検・評価検討委員の意見・助言についてなんですけれども、こちら施策の方向4、健やかな体を育てる教育の推進については、今回委員の皆さまから意見・助言をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

#### **萩原委員長**

では、こちらにつきましてご意見ございましたら頂戴したいと思います。

#### **野田副委員長**

それでは少し、追加修正もいただきましたので、それに合わせて私のほうからも意見を追加させていただきます。

1つ目が(1)ですが、健康三原則の啓発は有効であると思われるので今後、検証もされたいというかたちで。もう一度読みます。「健康三原則」の啓発は有効であると思われるので今後、検証もされたい。

それから、学校と家庭が協力して体力増進に取り組まれない。今後ですね、今後も学校と家庭が協力して体力増進に取り組まれない。体力づくりというのと食育っていうのが今後は2つにして、しっかり書いておいたほうがいいかなと思いました。

それから(2)食育のほうですね。朝食の喫食率が全国平均よりも低くなっている。生活リズムの問題が背景にあるので、体力づくりの取組との相乗効果に期待したい。もう一度読みます。朝食の喫食率が全国平均よりも低くなっている。生活リズムの問題が背景にあるので、体力づくりの取組との相乗効果に期待したい。私からは、以上です。

**萩原委員長**

ありがとうございます。私も文章考えていたんですけど、先生の文章のほうがいいと思います。避けることにして、最初の①のほうなんですけどね、冒頭のところに、生活習慣については課題があるためと一行入れたほうが。健康三原則の前です。生活習慣については課題があるため、「健康三原則」に基づくと、ちょっと課題が残っているということを言っておいたほうがいい気がします。私が書いている文章のところに、それをちょっと足してもらっていいですか。①のところ。

**事務局（永田教育総務課長補佐）**

意見・助言のところに追加でよろしいですか。

**萩原委員長**

助言のところですね。そこですね。

**野田副委員長**

健康三原則の前？

**萩原委員長**

前。うまく文章がつながるかどうか一旦書いていただいて。では、以上です。

**野田副委員長**

ちょっと文章変ですね。

**萩原委員長**

ちょっと変ですね。

**野田副委員長**

生活習慣については、課題があるため、「健康三原則」の啓発の有効性についても今後検証されたい。

**萩原委員長**

そうですね。有効性についても今後検証されたい。

はい、では5教職員の子どもの関わりの充実、こちらについてお願いします。

## 高山学校教育課長

はい。では、施策の方向5、教職員の子どもとの関わりの充実です。59 ページ、60 ページをご覧ください。

まず、(1) 教職員の人材育成の項目ですが、前回①、③の項目についてはあるものの、②組織的・継続的な人材育成のところの記載漏れをご指摘いただきましたので、そちらを新たに書き加えたというのが大きな変更点になります。初めての文章になりますので、こちらを読み上げさせていただきます。

まず60 ページ、令和3年度活動・成果概要です。②組織的・継続的な人材育成。組織的・継続的な人材育成を行うため、「門真市教職員のキャリアステージにおける人材育成指標」の見直しを図り、ステージに応じた系統的な研修計画の見直しを図りました。また、管理職が評価育成システムを用いて教職員の業務・能力における評価を、面談等をとおして適切に行うことにより、教職員の育成に努めました。

続いて、61 ページをご覧ください。こちら課題と今後の目標の②を付け加えさせていただきます。府より示されている人材育成指標に合わせ、本市における人材育成指標の見直しを行うとともに、各研修の充実を図ります。また、評価育成システムにおいて、各教職員がそれぞれのキャリアステージに準じた目標設定を行い、引き続き教職員の育成に努めます。すみません。1行、こちらのほうで削除漏れがございまして、今私が読み上げさせていただいた、すぐ下の③に移る1行前に、「を進めるとともに」という変な文章が残っておりますので、そちらは削除をお願い致します。その他にも、いただいたご指摘をもとに修正を加えた部分がありますので、そちらも併せてご確認いただけたらと思います。

(2) は、修正の部分はございませんので以上になります。

## 事務局（永田教育総務課長補佐）

それでは、91 ページをご覧ください。91 ページの意見・助言について読ませさせていただきます。施策の方向5、教職員の子どもとの関わりの充実。

(1) 教職員の人財育成、すみません。最後の育成の後の「援」は取ってください。人財育成についてです。教員研修については、質を高めるとともに教職員の負担にならない実用性の高い研修内容にしていきたい。

(2) 職場におけるハラスメントの防止についてです。ハラスメントに対する共通意識を醸成するような研修を今後検討していただければ、さらにより良いものになる。以上です。

## 萩原委員長

では、こちらのほう私のほうから先に意見を申し上げます。まず、91 ページ

のところなんですけれども、教職員の人財育成の「財」の字が違います。木辺の材です。そこの文章なんですけれども、教員研修については、質を高めるとともに教職員の負担にも配慮しつつ、より実用性の高い研修内容にしていくようにしていただきたい。負担にも配慮しつつ、より実用性の高い研修内容にしていくようにしていただきたい。

それから、次の（２）の文章ですけれども、ハラスメントに対する共通意識を醸成するような研修になるよう、更に検討を進めていただくことにより、より良いものになることを期待したい。ちょっと期待したい。そのとおりでなくても少し変えていただいても結構です。

#### **事務局（永田教育総務課長補佐）**

はい。わかりました。修正させていただきます。

#### **萩原委員長**

では、先生からのご意見をお願い致します。

#### **野田副委員長**

私は、（１）のほうで、キャリアステージに応じた研修というのを追加されていきましたので、キャリアステージに応じた研修による成果に期待したい。期待できるなぁと気持ちで、期待したい。キャリアステージに応じた研修による成果に期待したい。

それから細かい点で、今の（１）の教職員の人材育成「援」の字が各所に、「援」が残っていますので、58 ページの表紙の見出し、それから最初の目次のところ、人材育成援になっています。以上です。

#### **萩原委員長**

はい、ありがとうございます。では、施策の方向６、学校の組織力向上と開かれた学校づくり、こちらをお願いしたいと思います。

#### **十河教育総務課長**

はい、施策の方向６、学校の組織力向上と開かれた学校づくりのうち、実施施策の（１）学校組織の改善と「チーム学校」としての組織力の強化のところでございます。

67 ページをお願いします。67 ページの主な取組の②学校の自立性の確保につきまして、創意工夫による教育活動を行うために、予算を弾力的に運用を行う仕組みづくりをすると書いておりましたけれども、令和３年度では、具体的な予算

の弾力化はあったのか、また予算のあるなしに関わらず、学校長のリーダーシップによって、各校の教育活動があったのかどうか、あったのであればそのことを記載したほうが良いというご意見をいただいております。そのことからですね、令和3年度活動・成果概要の欄の②令和2年度に試行的に実施した予算の弾力化は制度的に不可能であったため、検討会を開催し一旦中止をしましたが、各学校においては、予算の範囲内で創意工夫による教育活動が行われましたとの記述を追加致しております。

また、令和2年度から施工しておりました予算の流用による弾力化は、令和3年度に一旦中止しましたが、それに代わる手法と致しまして、68ページの令和3年度実施を踏まえた課題と今後の目標の欄の②と致しまして、教材消耗品と通常の消耗品の枠をなくし、予算における学校の裁量を拡充していきます。という記述を追加させていただきます。以上です。

#### **事務局（永田教育総務課長補佐）**

続きまして、70ページの（2）教職員の働き方改革の推進につきましては、修正はございませんので、よろしく申し上げます。

引き続き、91ページをご覧ください。施策の方向6、学校の組織力向上と開かれた学校づくり、（1）学校組織の改善と「チーム学校」としての組織力の強化についてです。PDCAサイクルに基づく学校経営について、一番重要なのは目標の共有なので、全員が納得できる学校運営の目標を設定していただきたい。

（2）教職員の働き方改革の推進についてです。働き方改革の推進について、さらに合理的で無駄のないようにしていただきたい。以上です。

#### **萩原委員長**

では、私のほうから先に申し上げます。91ページの（1）のですね、最初はいいので、PDCAサイクルに基づく学校経営について、最も重要となるのは目標を共有することである。組織の全員が納得できる学校運営の目標を設定していただきたい。

それから、（2）のほうは、私のほうからは修正点ありません。特に気づいたことはありません。では、ご意見頂戴致します。

#### **野田副委員長**

私のほうからは、（2）のところですね。さらに合理的というのはわかりにくいかと思うので、「さらに」をやめて、業務のスリム化と分業を工夫し、無駄のない環境へと進めていただきたい。

### 萩原委員長

無駄のない、業務環境へ配慮いただきたいみたいな。働き方改革の推進について、業務の合理化と分業を工夫し、無駄のないように取り組んでいただきたいくらいにしておきますか。

### 野田副委員長

無駄のないように、取り組んでいただきたい。

### 萩原委員長

取り組んでいただきたい。最初の表記、無駄のないようにということで。

### 野田副委員長

合理的だけでは、不適當な気がします。

### 萩原委員長

では、施策の方向7、安全・安心・快適な学びの場づくり、こちらをお願い致します。

### 十河教育総務課長

それでは、施策の方向7、安全・安心・快適な学びの場づくりのうち、実施施策の(1)学校施設の改善でございます。73ページをお願い致します。

主な取組の②施設の修繕等の実施につきまして、施設の修繕には、悪くなっているところを把握することが大切で、そのためには、点検というものが重要となる。単に悪くなったところを直すのではなく、日常的に施設の状態を把握する活動を行っていくのであれば、それらを活動指標の一つとしてはどうかというご意見をいただいております。

このことから73ページの一番下に、活動維持指標としまして、各種点検実施校数を設定し、法点検を含む各種設備点検等を全校継続して行うという目標を設定させていただきました。

また、令和3年度実施を踏まえた課題と今後の目標の欄に、長寿命化計画の推進について令和4年度は具体的に何をするのかを規制すべきというご意見をいただきましたので、長寿命化改修計画の推進については、令和4年度中に各学校の状況や既存の資料を基に今後の改修計画を検討します。という記述を追加させていただきます。

### 渡辺教育企画課長

続きまして、(2)の施策です。新たなつながりを創る学校づくりについてです。もともと、活動成果概要のところには、新しい学校をつくるという意味で、新校を目指しております第四中学校区の取り組みのみを書かせていただきました。質疑の中で、全ての学校が作っていくという目標の中で、四中校区のことだけ書くのは、ちょっと違うんじゃないかっていうことで、ご指摘をいただきました。四中校区はまずリーディング校として、それから全校的に進めていきたいという回答をしましたところ、そういったことを書くのがいいんじゃないかというご指摘をいただきましたので、全面書き直しを致しました。

まず、活動・成果概要につきましては、一番上の「第四中学校区においては」のところは残しておりますけれども、後段ですね、新たなつながりを創る学校づくりを推進するにあたっては、本市で初めてとなる小中一貫校整備を行う第四中学校区をリーディング校として、ハード面・ソフト面を一体的に検討を進めつつ、その実践を市内各校に展開したいと考えています。

そこで、第四中学校区に設置しました学校設立準備会やワークショップなどの場を通じて、地域の様々な関係者による議論を行いながら学校づくりを進めており、これらの意見を集約しながら、学校整備基本計画の素案として取りまとめたところ です。ということで、書き直しております。

続けて、次の77ページをお願いします。これに合わせまして、課題と今後の目標につきましても、第四中学校区のことを書いてはありましたが、先程の活動・成果概要に合わせまして、書き直しております。

第四中学校区の新しい学校について、児童生徒や地域の方も含めた様々なつながりを意識した検討を進めることができました。

現時点では、コンセプトや理念といった抽象的な段階であり、令和4年度以降の設計や建設、その先にある運用段階でもその理念を具現化できるよう、継続して多様な関係者とともに検討を深めていくよう努めます。と記載を改めております。以上です。

### 高山学校教育課長

続きまして、(3)児童生徒一人ひとりの課題に沿った支援ということで、79ページ、80ページをご覧ください。

まず、1点目79ページの活動指標の1、スクールアドバイザーによる学校訪問研修とございます。それと80ページの下のほうにある成果指標の1、こちらのもともとの表現は、スクールアドバイザーに対する相談件数となっております。前回の会議で、どちらも同じような内容なので、そこの整備をというよう なご指摘をいただいたんですけれども、もう一度改めて確認したところ、この両方を表す意味は別のものでした。スクールアドバイザーによる訪問研修という



のは、退職校長が学校に赴いて支援や助言を行うというような活動であります。一方で、スクールアドバイザーに対する相談件数というのは、市民や保護者からの苦情や相談への対応ということですので、そのあたり市民等がこの点検・評価を見られた際に、わかりにくいということですので、市民・保護者等から、(来庁・電話)ということ、その活動の様子等がわかるようなかたちに修正を致しております。

次に 80 ページの、令和 3 年度活動・成果概要の、一番下の 2 行の部分です。こちらに S S W の活用によりというのがあるんですけども、前回の会議で C S W の間違いではないですかというようなご指摘をいただきました。こちら確認したところ、S S W で間違いではないと、こちらが正しいということでしたので、そのまま残しております。では、C S W との連携は全然出てこないじゃないかということで、そのあたりの説明がわかるように、81 ページのところ、今後の課題というようなかたちで、C S W についての説明を追加させていただきました。C S W については、個人情報保護の観点から、連携根拠やプロセスに課題があることから、現時点では限定的な連携にとどまっていますが、地域と学校との連携が児童・生徒の課題解決に有効であるケースも多いため、連携を進めるための体制づくりを進めることが今後の目標です。というかたちにしております。

#### 十河教育総務課長

はい、続きまして施策(4)子どもたちを事故や災害から守るための取組の充実についてです。84 ページをお願い致します。

一番上の主な取組の、③子どもの登下校時の見守り活動の充実につきまして、きめ細やかに実施しているものの、そのことが伝わりにくいというご意見をいただきましたので、キッズサポーターや見える配信サービス、青色防犯サポート以外にも子どもの安全見守りとして実施しております交通専任員に関する記述を追加させていただきました。

また、次の 85 ページの令和 3 年度実施を踏まえた課題と今後の目標の欄に、キッズサポーターに関して、年度更新制に変更し、実態に即した現状把握を進めるとしておりましたが、もっと具体的に示した方がいいとのご指摘もございましたので、実際にそれぞれが見守り活動を行う時間帯や活動場所を把握する旨の記載に変更しております。以上です。

#### 高山学校教育課長

続きまして、(5)学校外における子どもの学習支援の推進です。88 ページをご覧ください。

こちらにつきましては、以前は保護者や生徒のニーズに合わせたものとして

いく中でという表現をしておりましたが、目的として書く方がよいということで、ためにという表現を使ってはどうかというふうなご指摘をいただきましたので、そこを反映しまして一部修正を行ったものです。以上です。

### 事務局（永田教育総務課長補佐）

続きまして、91 ページの意見・助言をご覧ください。

施策の方向7、安全・安心・快適な学びの場づくり、(1) 学校施設の改善についてです。子どもの安全・安心を守るという社会保障的な側面も踏まえて、引き続き改修工事を実施していただきたい。

(2) 新たなつながりを創る学校づくりです。引き続き、学校や地域の意見を取り入れながら、新しい学校を創設していただきたい。

(3) 児童生徒一人ひとりの課題に沿った支援についてです。本施策は、いじめの問題、自尊感情の問題等にも繋がっているということ意識し施策を推進していただきたい。

(4) 子どもたちを事故や災害から守るための取組の充実については、ご意見いただきたいと思えます。

(5) 学校外における子どもの学習支援の推進についてです。K a d o m a 塾や家庭学習への支援は、学校の中では見えにくい所だと思われるが、地道に実施されてきた成果が成績の向上としてはっきり出ている。以上です。

### 萩原委員長

はい、では私のほうから、91 ページのところの文章の意見を述べさせていただきます。

(1) なんですけれども、最初のところに、「学校施設の改善は、」と入れてはどうかと思います。学校施設の改善は、子どもの安全・安心を守るという社会保障「の取り組みである点を踏まえて」と、そのあとは、引き続き改修工事を実施していただきたい。

(2) のほうなんですけれども、冒頭の「引き続き」を取って頂いて、「隣人分校での検討も踏まえ」と合わせていただければ。学校や地域の意見を取り入れながら、最後ですけれども、新しい学校「の」創設「に取り組んで」いただきたい。よろしいでしょうか。

それから、(4) のほうなんですけれども、よく考えた文章を申し上げます。新たな見守り機能の導入を進める等、子ども達を事故や災害から守るための取り組みの充実にさらに務めていただきたい。もう一度言います。新たな見守り機能の導入を進める等、子ども達を事故や災害から守るための取り組みの充実にさらに務めていただきたい。

(5) のほうは、訂正箇所はありません。では、ご意見を頂戴致します。

#### **野田副委員長**

私のほうからは、(3) のところで、少し表現の仕方を変えたほうがいいかなと思ひまして、本施策は、いじめの問題、自尊感情の問題等に「も」を取っていただいて、繋がることから「を意識し」を取って、これからも人権感覚を研ぎ澄まし強い意志を持って施策を推進していただきたい。あまり意識してないように読み取れるなというので、繋がることからこれからも人権感覚を研ぎ澄まし強い意志を持って施策を推進していただきたい。力強い気持ちで。もう一度、言った方がよろしいですか。

#### **事務局（永田教育総務課長補佐）**

お願いしてよろしいですか。

#### **野田副委員長**

最初からいきます。本施策は、子どもの問題、自尊感情の問題等に繋がることから、これからも人権感覚を研ぎ澄まし強い意志を持って施策を推進していただきたい。

#### **萩原委員長**

ありがとうございます。

#### **野田副委員長**

それから、(4) なんですが、ここは、入れていいのかわからないんですが、ちょっと読んでみます。メール配信サービスで、不審者情報を活用していることを公表することも効果があるのではないかと。そういう情報を共有してますよというようなことをアピールするというのも、抑止効果があるのではないかと。今現在、メール配信サービスで不審者情報を共有されているんですね、当事者同士で、そういう当事者がそれを共有していますよ、近所の人みんな知っていますよというようなことが、情報共有しているんだってことを何か市報とかに書いていたりとか、もうされているんですか、それを書いているならいいと思います。今は、学校関係者だけが、その不審者情報を持つてる訳ではなくって、一般的にも公表されているんですか？

#### **高山学校教育課長**

これ、大阪府の警察の取り組みで、安まちメールっていうのがございまして、そちらでもだいたい同じような不審者情報が併せて流れてきます。

#### 野田副委員長

そしたらもう大丈夫ですね。ありがとうございます。

#### 萩原委員長

では、以上でよろしいでしょうか。

#### 事務局（永田教育総務課長補佐）

はい。92 ページをご覧ください。92 ページの、全体についての意見を読ませていただきます。

1つ目が、これまではコロナ禍の中で事業を精巧に工夫され実施されてきたが、今後はコロナ禍で失ったものを取り戻すために、地域との繋がりや子どものニーズに合わせるなどの新しい視点にたって作り上げることが必要になる。

2つ目が、そのためには教職員の負担も増えることが予想されるので、働き方改革についても、さらに合理的で無駄のないようにしていただきたい。

3点目です。職場におけるハラスメントの防止もさらに力をいれていただきたい。

開発的生徒指導により豊かな子どもが育っていて、質の高いものになってきている。

学校教育診断のアンケートについては、分析の仕方によって課題が発見され改善につながり役立つものになるので、継続して実施していただきたい。

新しい教育振興基本計画ではめざす指標が明示されているので、本点検・評価でも整理がよりされている。

成果指標の整理をし、めざす指標とどう繋がっているかという論理構成をさらに今後考えていただきたい。論理構成を整理することで、各事業を実施している担当者が、各事業と大きな施策とのつながりを理解し、成果や評価についても考えるようになってほしい。

開発的生徒指導や学校教育診断等、門真市として実施してきた成果が少しずつ現れていて、新しい計画にも反映されているので、今後もさらに継続し進めていただきたい。以上です。

#### 萩原委員長

はい。どうでしょうか。

### 野田副委員長

説明をちょっと入れましょうか。

### 萩原委員長

はい。そうすると。

### 野田副委員長

作り上げることが必要になるという文面化されると非常におかしい。取り組んでいただきたい。新しい視点に立って取り組んでいただきたい。

### 萩原委員長

2つ目もちょっと気になりました。いきなり「そのために」は、わからないので。全体でのことを言っているのかどうかなんですが、改革の推進や課題への対応を進めることは、教職員の負担の増加が予想されるので、働き方改革についても更に合理的で無駄のない業務分担等に配慮いただきたい。もう一回言います。改革の推進や課題への対応を進めることは、教職員の負担の増加になることが予想されるので、ちょっとどうしよう。働き方改革についても更に合理的で無駄のない業務分担等に配慮いただきたい。追加のほうを。

### 野田副委員長

今回の、新しくなった指導計画、予測した点検・評価ということなので、ちょっと足した方がいいのかなと思って考えたんですけども、要するに子どもに対する学習支援っていうふうにこれまでは書いてきたんですけども、教師の指導力を向上することで、学力を上げようってスタンスが変わってきていますので、それを少し書いたほうがいいと思って、子どもに対する学習支援から教員の指導力向上に向けた取り組みへとシフトすることで、学力向上の成果が期待できる。期待していますよってということです。もう一度言います。子どもに対する学習支援から教員の指導力の向上に向けた取り組みへとシフトすることで、学力向上の成果が期待できる。今期の指導計画からと入れておいたほうがわかりやすいですかね。いらないですね。子どもに対する学習支援だから、教員の指導力の向上に向けた取り組みへとシフトすることで、学力向上への成果が期待できる。

### 萩原委員長

学習プランですもんね。そしたらこれは今期じゃないなど。

### 野田副委員長

具体的な授業をどうするかっていう記述を、1個ずつ前はあげていたんですね。アクティブラーニングの成果とか、そのところを教員の指導力、授業づくり力そういうものをアップしていただいているというような書きぶりになっているような気がしますね。

### 萩原委員長

そうですね。それこそ、1回目の予定はその通りです。

### 野田副委員長

だから、せっかく変わっているんだから、そこもちょっと順番に変えたほうがいいかなと思ったんです。学習支援の研修からとか入れたほうがいいですかね。子どもに対する学習支援を思って、教員の指導力向上に向けた取り組みへとシフトすることでという、「今次の計画では」って入れましょうかね。今次の計画では、教員の指導力の向上に向けた取り組みへとシフトすることで学力向上の成果が期待できる。そういうかたちにしてください。子どもの学習支援からって入れるからずっと入れなあかんので、今次の計画では、教員の指導力向上に向けた取り組みへとシフトすることで学力向上の成果を目指しているんですけども、成果が期待できる。

それと、もう一つは、ここの担当の担当課名の余白がある、センターというのが入ってきているんですよ。教育センターの担当というところが、そこも結構変わっているように思いますので、そのところは、教育センターの担当が明記されたことにより、学力向上対策の具体的な方向が示されたっていうような文面にしたらどうか。今後の推進力に期待したい。もう一度言います。教育センターの担当が明記されたことより、学力向上対策の具体的な方向が示された。今後の推進力に期待したい。学力についてどこが推進をしているところなのかっていうことが明記されたってことを言いたいんですけど、それで今後の推進力に期待したいという文章で、もう一度言います。教育センターの担当が明記されたことより、学力向上対策の具体的な方向が示された。今後の推進力に期待したい。この2つがこれまでと変わってきているところなので、ちょっと追加していただこうかなと思いました。

### 萩原委員長

私からも、気になるところが2つあって、申し上げますね。1つは、4つ目の開発的生徒指導により豊かな子どもが育っていて、質の高いものになってきているというのは、ちょっと文がわかりにくいので、開発的生徒指導はその下の、

今で言いますと一番下のところに入っているのです、この1行いららないかなと思います。もう一番下のところを書いているので、これ取ってはどうかかなと思いました。

それから、下から2つ目の文章なんですけれども、ここも文章が長いので、こういうのはどうかと思います。成果指標の前に、「活動指標・成果指標の」までいって下までずっと取ってもらって、3行目につながります。活動指標・成果指標の論理構成を整理することで、各事業を実施している担当者が、この次の各事業の「各」はいらないです。事業と大きな施策とのつながりを理解し、成果や評価についてもより深く考えることが出来るようになることを期待したい。よろしいでしょうか。もう一度言いますね。活動指標・成果指標の論理構成を整理することで、各事業を実施している担当者が、事業と大きな施策とのつながりを理解し、成果や評価についてもより深く考えることが出来るようになることを期待したい。私が申し上げるのは以上になります。

**事務局（永田教育総務課長補佐）**

はい、ありがとうございます。

**萩原委員長**

いっぺん文章にして頂いて、おかしかったらまた、はい。

**事務局（永田教育総務課長補佐）**

はい、わかりました。

**萩原委員長**

では、以上で終了となりますが、何か全体を通じて言うことがあれば。

**野田副委員長**

活動指標と成果指標を分けたことで読みやすくなりました。説明もわりと目標とすることもしっかりと意識して書いていただけているので読みやすくなっています。

**萩原委員長**

すごく整理して頂いたのです、すごく読みやすかったというか、ここの根拠になってるのが、この成果指標だったりだとか、つながりがすごく全体的に出るようになったので分かりやすくなったと思います。将来的なことなんですけれども、コロナが終息して、その際には、それについての点検評価というのか、意見をど

こかにまとめておく必要があるのかなと思います。一応もう感染症対策というのを一切しなくても、その時に、それまでの感染症対策はどうだったのか、そこで何が教訓になって次に活かされるのかっていうのをどこかで整理しておく必要があるなって思います。それは、多分、振興計画には載っていないですけど、ひょっとしたらまた違う感染症が訪れたときに大きな余力になる可能性がありますので、まだ今、真っ最中なので、もう終息するとは言い切れないので、来年の秋か、ひょっとするとその翌年か、その3年、4年の取り組みについての総括的なですね、この場合なんとか伝えておく必要があるのかなと思います。もちろん、国の方向とか、府の方向とかに左右される、それを踏まえた上で、門真として独自に取り組んだことだとか、そういうことも整理して、時系列を並べるだけじゃなくて、総体の取り組みとしてどういうことを次の教訓として残しておくのかということについては、整理がいるなど改めて思いました。今回は、全体的なまとめのところで、言い捨てたんですけども、まだちょっと、また感染拡大があるかもわかりませんので、今の段階でちょっと整理してと意見言うのは僭越かなと思うんですけど、どっかで落ち着いて、もう一旦終息というときに、それについての意見をバタバタとまとめるというのも必要なことかなと思います。ちょっとどこかに留めていただいてよろしいですか。

では、他にご意見がなければ以上で終了とさせていただきますよろしいでしょうか。

#### **事務局（永田教育総務課長補佐）**

はい、ありがとうございます。今日いただいた意見を反映させていただいて、また学識の皆様を確認させていただきたいと思います。確認ができましたら、その報告書を以って答申とさせていただきます。その後、今月末10月28日に、教育委員会の定例会議がございますので、こちらに最初の答申を得たものを議案として諮り、可決の運びとなりましたら12月の市議会のほうで報告書を提出させていただきます。その後、点検・評価委員の皆様には、完成後の報告書を送付させていただきますのでよろしくお願いいたします。以上が、今後の流れでございますのでよろしくお願いいたします。

#### **萩原委員長**

それでは、本日の案件は終了とさせていただきます。これにて、門真市教育委員会点検・評価検討委員会は終了とさせていただきます。長時間に渡り、誠にありがとうございました。